

こどもホタルレンジャー活動平成30年度受賞者概要

【 環境大臣賞 】

いまがわ
今川こども自然クラブ

「里山の営みによって、今川のホタルや水辺の生き物を守ろう」
(静岡県湖西市、35名 小学4年生～中学生)

【委員講評】

ホタルを保護するだけでなく、里山保全などによりE S DやS D G sを視野に入れ、今川の生態系の保護という視点で活動を進めていることが評価された。

【主な活動】

ホタルを守る活動

- ・生物調査・川の掃除
- ・ホタル観察会（年2回。ただし、観察可能期間は1か月ほど）
- ・自然観察会（年2回）

水質・生物調査（月に1回実施）

きれいな川を守るための活動

- ・森を守る活動（植樹、間伐）
- ・水を汚さない行動

自然保護活動を広げる取組（活動の情報発信等）

ホタルを保護するだけでなく、今川の生態系の保護という視点で活動していくことの大切さに気付き、「森の恵み」にも関心を持って活動を進めている

【 水環境保全賞 】

ひろかわちょうりつつぎちゅうがっこうそうごうがくしゅう けんきゅうはん
広川町立津木中学校総合学習ゲンジボタル研究班

「ホタルを支える生態系の解明」- ホタル生息数とエサカワニナ数との関係 -
(和歌山県有田郡広川町、15名 中学1～3年生)

【 審査委員講評 】

中学生らしい科学的な視点がしっかりしており、さらに小学生への啓発活動や継続したホタルと水質調査を行っていることなどが評価された。

【 主な活動 】

ゲンジボタルの定点生息数調査と成虫・幼虫の生態研究

ホタルの幼虫の飼育と放流、ホタル保護看板の設置

水質調査・カワニナ数の調査等による「ホタルの生息に適した水辺の環境」の解明

ホタル保護や研究に関する活動事例の発表・情報発信

ホタルの保護活動と水環境やホタル」の生態についての調査研究活動を両立させながら環境保全につなげている。

また、学校と地域住民が一体となった取組となるよう、「ホタル幼虫放流会」を行い、さらに、ホームページによる情報発信を行っている。

【水環境保全賞】

まつやまちょうない ほたる ふっかつ かい
松山町内にホタルを復活させる会

「ホタルを育て復活させよう！第 11 号」
(秋田県由利本荘市、37 名、園児～高校生)

【委員講評】

地域全体の環境保全の中で活動の意義がきわめて大きいことやホタルを介して水環境を把握・理解するものとなっていること、活動を有機的に結びつけ、地域内に拡大展開している取り組みなどが評価された。

【主な活動】

森林整備（6 回実施）

ホタルの餌となるカワニナの放流（1500 匹放流）

ホタル観察会（6 月 17 日～7 月 21 日）

水生生物や水質の調査

環境を整備しホタルの幼虫とカワニナを放流した結果、毎年ゲンジボタルが沢山飛びようになった。また、定期的に草刈り枝切り、枯れた樹の伐採等の森林整備の結果、キクザキイチゲとカタクリ等が群生するようになった。

【審査員特別賞】

たかおかしりつなかだちゅうがっこう
高岡市立中田中学校

「ゲンジボタルの保全活動から環境問題を考える活動」
(富山県高岡市、92名、中学校2・3年生)

【委員講評】

科学的な探求活動と結びつけての取り組みや全員ホタル飼育活動・サポート活動を行うことで、理解促進を図っていることなどが評価された。

【主な活動】

- 全員ホタル飼育体験
- ゲンジボタルのガイドツアー活動
- 構内ホタルサポーターズ活動
- 外部講師による独自研修会活動
- 地域諸団体との連携活動
- 郷里の泉(学校ビオトープ)でのホタル復活活動

自分達の手近にある郷里の泉で、多数のホタルを復活させ、ゲンジボタルの里として有名な中田地区のシンボルとなるようにしたい。

【奨励賞】

こどもエコクラブ ^{いんべ} 忌部ワクワクサファリ

地域の川「玉湯川」のホタル発生状況と生息環境を調べよう
(島根県松江市、16 名、小学 1 ~ 6 年生)

【委員講評】

ホタルの活動期間が短い島根県において保護観察活動を行っていることが評価された。

【主な活動】

玉湯川のホタルの発生状況と生息環境の調査
ホタルが住みやすい環境にするためのゴミ拾い

身近な地域の自然に触れることで、地域の自然の豊かさに気づき、自然を守ることへの意識の高揚を図っている。

【奨励賞】

ひろやすにししょうがっこう かんきょういいんかい
広安西小学校 環境委員会

広西湧き水再生プロジェクト～環境×防災×生き物を考えた湧き水の取組～
(熊本県上益城郡松江市、14名、小学5～6年生)

【委員講評】

近年の災害により大きな被害を受けながらも、湧き水から防災について考え、行動を行っていることが評価された。

【主な活動】

熊本地震と湧き水の関係の調査

- ・益城町で湧き水が出ている場所について、熊本地震でどのような影響があったかを調査

広安湧き水再生プロジェクト

地域の方々から昔の湧き水の様子や生活の中での湧き水の必要生を聞いた。

これからも、日ごろから湧き水を大切に続け、災害など何かあったときは、その大切な湧き水がどう生かされるか考えていくと同時に昔の風情があり生き物がたくさん住める湧き水に戻そうと考えている。そして湧き水を通して地震と共存できる広安西の地域や益城町を作ることができればと考えている